

1. 学童支援！つなげよう！ひろげよう！ こどもたちの笑顔のリレー

グループ名 ぱん・ぱん・ぱんぷきん、ゆきん子
代表者名 松浪 智子

①活動の目的

東日本大震災を受け、中土幌児童ステーションと共催して、子育て支援カーを駆使して、4回に渡り、岩手県沿岸部被災地、5市5町村の主に学童の支援活動をしています。現代、学童は保育所同様、勤労世帯にとってなくてはならない存在です。現在、復興に向け学童への入所児が増えています。仮設で頑張っている学童が大半です。

支援の行き届かない学童の支援を実施し、学童を通し、被災地の復興を長期に渡り支援したい。

②活動概要

東日本大震災をうけ、会の原点となった被災地の子育て支援を目的に、中土幌児童ステーションと共同し、2011年5月から、子育て支援カーを駆使して、岩手県沿岸部被災地の被災した子育て支援センター、保育所、児童館、学童、避難所、仮設住宅の支援にあたりました。子育て支援カーは、油圧式開閉機能を備えた動く保育室にして、児童館で、音響、映像、情報、舞台、動く図書館にして、おもちゃライブラリー、自家発電、拡張テントシステム等を備えた高機能車で、その持てる機能と機動力と広域展開力で、岩手県沿岸部、5市5町村の被災地の支援を4回に渡り実施しました。今月の5月30日から、第6次支援に出発し、さらに、第7次支援として、8月6日～9日まで、宮古市花輪、赤前、津軽石の3学童の子ども達を、北海道サマーキャンプ in 遊～遊～村に招待し、当地の学童の子ども達と交流するケア、リフレッシュ事業を実施しました。学童は学校等に比べ、復旧が遅れ、再開すらおぼつかない学童もあり、海上コンテナをつなぎ仮設としている学童もありました。

10月10日からの第8次支援では、第7次支援の北海道サマーキャンプ in 遊～遊～村に参加してくれた児童や保護者の方も会いに来てくれ、交流が深まりを見せています。今後も保育園・学童ともに、復興に向け長期に渡り子育て・学童支援を継続実施していきたいと思えます。

第8次支援日程

月 日	対象地域	活動場所	備 考
10月10日			フェリーにて移動
10月11日			〃
10月12日	山田町	午前：山田第一保育所 午後：轟木児童館 放課後児童クラブ	
10月13日	宮古市	第4回復興支援イベント (花輪橋自動車教習所)	
10月14日			田老の下見
10月15日	宮古市田老	田老保育所	
10月16日	陸前高田市	午前：広田保育園地域子育て支援センター 午後：放課後児童クラブ 広田わかめっこ（広田小）	
10月17日	大船渡市	午前：大船渡保育園 午後：放課後児童クラブ ゆうゆう（大船渡北小）	
10月18日	〃	放課後児童クラブ うみねこキッズ（大船渡小）	
10月19日			フェリーにて移動
10月20日			〃



10/16 広田保育園 訪問



10/17 大船渡保育園
しゃぼん玉あそび



10/18 大船渡小
エレキパンづくり

③決算報告書

収入	大同生命厚生事業団助成金	100,000
	自己資金	337,161
収入合計		437,161
支出	支援物資購入費 (しゃぼん玉、電池、牛乳ほか)	67,001
	資料作成費 (案内ポスター@250×25枚=6,250円) (案内チラシ@10×400枚=4,000円)	10,250
	車両フェリー代 (往復:@85,300×1台) (苫小牧～秋田:@42,160×1台) (仙台～苫小牧:@62,800×1台)	190,260
	フェリー乗船代(往復) (@21,325×内会員2名=42,650円)	42,650
	宿泊代 (@8,000×7泊×内会員2名=112,000円)	112,000
	保険料 (@500×7日×内会員2名=7,000円)	7,000
	事務用品費	8,000
支出合計		437,161